

作成・改定日 2020年6月23日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：DOTP

会社名：アーク(株)

住所：大阪市北区西天満3丁目10-3

電話番号：06-6809-5970

2. 危険有害性の要約

GHS分類：GHS分類基準に該当しない

注意書きも含むGHSラベル要素：GHS分類基準に該当しない。

他の危険有害性：なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名：テレフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(略称DOTP)

別名：Bis(2-ethylhexyl) terephthalate

化学式：C₂₄H₃₈O₄

分子量：390.56 g/mol

CAS番号 6422-86-2

EC番号：229-176-9

官報公示整理番号：3-4053

安衛法官報公示番号：4-(7)-1490

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

4. 応急措置

必要な応急手当

吸入した場合：吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。

皮膚に付着した場合：石けんと多量の水で洗い流す。

目に入った場合：予防措置として、水で眼を洗浄する。

飲み込んだ場合：意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベ

ル表示(項目 2.2 を参照)および/または項目 11 に記載されている

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示：データなし

5. 火災時の措置

消火剤：適切な消火剤（水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素）を使用すること。

特有の危険有害性：炭素酸化物

消防士へのアドバイス：消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。

個人保護については項目 8 を参照する。

環境に対する注意事項：環境に対する特別処置は必要ではない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

参照すべき他の項目：廃棄はセクション 13 を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置：注意事項は項目 2.2 を参照。

配合禁忌等を踏まえた保管条件：冷所に保管。容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。

特定の最終用途：項目 1.2 に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ：許容濃度が設定されている物質を含有していない。

曝露防止

適切な技術的管理：作業上の一般的な注意事項を守る。

保護具

眼／顔面の保護：NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具：手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。（手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令および

GLP に従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。

身体の保護：不浸透性衣服、特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

呼吸器の保護具：呼吸用保護具は必要ない。不快物質への暴露には、OV/AG 型 (US) 又は ABEK 型 (EU EN14387) 呼吸用保護具カートリッジを使用する。NIOSH (US) または CEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

環境暴露の制御：環境に対する特別処置は必要ではない。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：無色

臭い：かすか

においの閾値：データなし

pH：データなし

融点：-43°C

融点・凝固点：< -67.2 ° C at 1013.250 hPa

沸点，初留点及び沸騰範囲：400 °C - lit.

引火点：212 ° C - 密閉式引火点試験

蒸発速度：データなし

燃焼性 (固体、気体)：データなし

引火上限/下限または爆発限界：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重：0.986 gPcm³ at 25 ° C

水溶性：0.0004 grm/l at 22.5 ° C - 不溶

n-オクタノール／水分配係数：データなし

自然発火温度：387 ° C at 980 hPa

分解温度：データなし

粘度：データなし

爆発特性：データなし

酸化特性：データなし

その他の安全情報

表面張力 32.7 mN/m at 22 ° C

10. 安定性及び反応性

反応性：データなし

化学的安定性：推奨保管条件下では安定。

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：データなし

混触危険物質：強酸化剤

危険有害な分解生成物：有害な分解生成物が火があるとき生成される。 - 炭素酸化物

その他の分解生成物：データなし

火災の場合:項目 5 を参照

11. 有害性情報

急性毒性

LD50 経口 - ラット - オスおよびメス -> 5,000 mg/kg

LD50 経皮 - モルモット -> 19,680 mg/kg

LD50 腹腔内 - ラット - オス -> 3,200 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 4 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 軽度の眼刺激

(OECD 試験ガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

ネズミチフス菌 (*S. typhimurium*)

結果: 陰性

発がん性

IARC: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性がある、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

追加情報：RTECS: WZ0883500

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：止水式試験 LC50 - *Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ) -> 984 mg/l - 96 h(OECD 試験ガイドライン 203)

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性：固定化 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 0.0014 mg/l - 48 h(OECD 試験ガイドライン 202)

藻類に対する毒性：成長抑制 EC50 - *Selenastrum capricornutum* (緑藻) -> 0.86 mg/l - 72 h(OECD 試験ガイドライン 201)

微生物毒性：呼吸抑制 EC50 - スラッジ処理 -> 10 mg/l - 3 h(OECD 試験ガイドライン 209)

残留性・分解性

生分解性：好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 73.05 % - 易分解性。(OECD テスト ガイドライン 301B)

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果：化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

他の有害影響：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品：免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。

汚染容器及び包装：製品入り容器と同様に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号

ADR/RID (陸上規制) :- IMDG (海上規制) :- IATA-DGR (航空規制) :-

国連輸送名：ADR/RID (陸上規制)：非危険物

IMDG (海上規制)：Not dangerous goods

IATA-DGR (航空規制)：Not dangerous goods

輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：-

IMDG（海上規制）：-

IATA-DGR（航空規制）：-

容器等級

ADR/RID（陸上規制）：-

IMDG（海上規制）：-

IATA-DGR（航空規制）：-

環境危険有害性

ADR/RID: 非該当

IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当):非該当

IATA-DGR（航空規制）：非該当

特別の安全対策：なし

混触危険物質：強酸化剤

15. 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法：引火性液体，第四石油類，危険等級 III

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則：非該当

有機溶剤中毒予防規則：非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物：非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物：非該当

化学物質排出把握管理促進法：非該当

16. その他の情報

・この MSDS は、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。